

73期の先生方より読んでほしい図書を紹介します。

【国語科・我那覇】・・・毎日、極上の文章に触れよう！

勉強の本では『大学入試国語頻出問題 1200』（いいずな書店 1170+税）がおすすめです。現古漢すべて網羅、どこから読んでもOK。飽き性の私にもびったりです。クイズみたいに読んでいたら一冊読んでいました。

『下流志向』『おじさんの思考』（内田樹）などの思想本もお勧め。あと、新書を読んで下さい。（注：文庫の細長いやつです。）

息抜きなら『和菓子のアン』（坂木司）シリーズ、『鳥に単は似合わない』（阿部智里）シリーズ、『後宮の鳥』（白川紺子）シリーズが楽しくて好きです。後はネットで「朝日デジタル 読書おうえん団 フレーフレー学校図書館」のバックナンバーに「エッセイスト我那覇」が書いたお勧め本がありますので、検索して下さい。（中国物と源氏関連本です。少し前ですが・・・）ちなみに、今は『紫式部ひとり語り』（山本淳子 角川ソフィア文庫令和2年2月25発行）を読んでいます。面白い・・・！

【物理科・大栗】

● 『読書について』（ショーペン・ハウエル・著）

- 大学生の時に読みましたが、もっと早くに出会いたかった一冊。ページは薄いですが、内容は厚く、熱い！ 「考える」ということを、考えさせてくれる一冊。これから受験に向かっていくこの機会に、じっくりと「考え方」「学び方」と向き合う機会をもってみるのはいかが？ 翻訳本ですので、翻訳者・出版社の異なるものがいくつか出ているので、読み比べてみるのもよいかも。

● 『会話もメールも 英語は3語で伝わります』（中山 裕木子・著）

- 特許翻訳（特許明細書を外国出願するために英語翻訳する仕事）に従事する妻からの勧めで読んだ一冊。英語不得手の私でも納得できる良書。「強い構文（SVO）・強い動詞を選ぶ」というシンプルな指針が、ノンネイティブ的英語からの脱却へと導いてくれる。英作文、論文執筆、英文日記、英会話…と、いろいろなシーンで役立つこと間違いなし。本自体はすぐ読めて、しかも、すぐ役に立つ！ 物理教師の私が推すのは少し恐縮ですが、ぜひ英語学習の参考に読んでみよう！

● 『重力とは何か アインシュタインから超弦理論へ、宇宙の謎に迫る』（大栗 博司・著）

- 日本が誇る物理学者の大栗先生（残念ながら私ではない。関係もない。）が、最新物理理論をわかりやすく書き記した一冊。専門分野である超弦理論（ざっくりいうと、万物は極小の弦でできているという理論）に迫る部分は、やはり熱が伝わってくる書きぶりで、興味惹かれること間違いなし！ これに限らず、大栗先生の著書はわかりやすく、興味深いものばかりなので、ぜひ一冊でもよいので読んでみよう！

【国語科・江西】

こんにちは。みなさん、退屈していませんか？ 普段のお休みで、何も考えずに家でごろごろするのは平気ですが、「不要の外出はしないように」と言われて家にいるのはストレスが溜まると思います。うまくコントロールして、心身ともに健康な生活を送ってくださいね。部活動がない分、勉強面の補強をしっかりしていることと思いますが、このような時間のある時には、勉強の気分転換も兼ねて読書も良いと思います。挙げればきりがありますが、いくつかのジャンルに分けて紹介します（作品に★がついているものは続編があり、☆がついているものは映画/ドラマ/アニメ化されています）ので、興味があれば読んでみてください（とはいえ、入手手段にも気を遣いますよね…）。

### 〈教養を身に付けたい人〉

- ① 「大世界史 現代を生きぬく最強の教科書」池上彰／佐藤優 文春新書
- ② 「大日本史」山内昌之／佐藤優 文春新書
- ③ 「日本人と日本文化」司馬遼太郎／ドナルド・キーン 中公文庫

佐藤優は、元外交官で対ロシア交渉の最前線にいた人で、蔵書は数万冊にも及ぶ博覧強記の「知の巨人」です。ドナルド・キーンは日本国籍も取得した、日本をこよなく愛する日本文学者で、約1年前に逝去されました。教養ある人同士の対談は、多角的な考察から話題が尽きず、いかに我々が物を知っていないかを思い知らされます。この機会に、世界や日本の成り立ちを学び直すことをお勧めします。

### 〈知的好奇心を満足させたい人〉

- ④ 「フェルマーの最終定理」サイモン・シン 新潮文庫
- ⑤ 「暗号解読」サイモン・シン 新潮文庫
- ⑥ ★「ご冗談でしょう、ファインマンさん（上・下）」R.P. ファインマン 岩波現代文庫

④は、「 $X^n+Y^n=Z^n$  ( $n$  は 3 以上の自然数) を満たす自然数  $X, Y, Z$  の組は存在しない」、という一見単純な公式の証明に数多くの数学者が立ち向かい、350 年以上の時を経て 1995 年にワイルズに証明されるまでをまとめたものです。もちろんノンフィクションですが、下手な小説よりもドラマチックで面白いです。⑤は、古来より機密情報を保持するために存在した様々な種類の暗号の歴史が紹介されます。第二次世界大戦の趨勢を左右した学者たちの戦いが白眉です。⑥は、ノーベル物理学賞を受賞したファインマンの自伝です。ノーベル賞を受賞するような人って気難しい人が多いかも、という予想を覆すファインマンの人柄に学ぶことも多いと思います。

### 〈ファンタジーの世界にどっぷり浸りたい！〉

- ⑦ ★「図書館の魔女（1～4）」高田大介 講談社文庫
- ⑧ ★「夜の写本師」乾石智子 創元推理文庫
- ⑨ 「アラビアの夜の種族（Ⅰ～Ⅲ）」古川日出男 角川文庫

⑦はここ5年くらいに読んだすべての本の中で一番面白かった作品です。本好きしか読んではいけません。中途半端な語彙力や忍耐力では、この密度の高い文章を読み進めることはできないでしょう。その代わり、読み進めるほどに加速度的に増す面白さ（こんな伏線があったのか！等）に恍惚となり、終盤に差し掛かると、読み終えてしまうのが悲しくなるような作品です。⑧は正統派のファンタジーです。さまざまな種類の魔法が登場しますが、それぞれの系統（動物や自然等）や世界観の説明が丁寧で説得力があり、素直に話の世界に浸れます。⑨は以前にも紹介した作品です。ダンジョン RPG 好きはぜひ！

### 〈三度の飯より SF が好きなんです〉

- ⑩ ☆「ハーモニー」伊藤計劃 ハヤカワ文庫
- ⑪ ★☆「マルドゥック・スクランブル（Ⅰ圧縮、Ⅱ燃焼、Ⅲ排気）★」<sup>うぶかたろう</sup> 冲方丁 ハヤカワ文庫
- ⑫ 「世界の終りとハードボイルド・ワンダーランド（上・下）」村上春樹 新潮文庫

⑩の作者は、デビューしてから2年という短さで、約10年前に34歳で早逝した天才です。体にチップを埋め込まれ、健康管理を徹底された社会に抗う女子高生の物語ですが、話は思わぬ展開を見せます。⑪は、現在は歴史ものを多く書いている作者のデビュー作であり出世作です（元はSF作家です）。カジノのオーナーがラスボスなのですが、彼に会うためにカジノでポーカーをするシーンが圧巻です。その部分を読むためだけにこの作品を読む価値があるほどに、緊迫感があり面白いです。⑫は以前にも紹介した、僕が人生で最も多い回数（10回以上！）を読んだ作品です！

### 〈腰を据えて読むならミステリでしょ〉

- ⑬ ☆「ゴールデンランバー」伊坂幸太郎 新潮文庫
- ⑭ ★☆「白夜行」東野圭吾 集英社文庫
- ⑮ 「慟哭」貫井徳郎 創元推理文庫

⑬の作者は、現在最も外れの少ない作家の一人です。首相暗殺の濡れ衣を着せられた主人公が追手の追跡に対する手立ては…。伊坂作品の特徴は、伏線回収の巧みさと読後感の爽快さにあります。少々都合主義的な部分も散見しますが、思わぬ伏線の畳み方に思わず笑みが漏れることでしょう。⑭は名作です。この作品が10点だとすると、次作「幻夜」は7点くらいの作品ですが、ある仕掛けが施されており、それに気付けると大きな衝撃を受けるでしょう。気付けた人は僕に教えてください。⑮は、あまり後味がよくないので、そういう作品が苦手な人は避けてください。ただ、天地がひっくり返るようなとんでもない仕掛けがあり、それを知った時の衝撃は計り知れません。

### 〈部活ができないのでスポーツものや部活ものを！〉

- ⑯ ★「サクリファイス」近藤史恵 新潮文庫
- ⑰ ☆「一瞬の風になれ（第一部～第三部）」佐藤多佳子 講談社文庫
- ⑱ 「よろこびの歌」「終わらない歌」宮下奈都 実業之日本社文庫

⑯は自転車競技の話です。取っつきにくいジャンルですが、自然な形でルール等も分かるように描かれており、自転車競技の魅力も味わえます。熱いストーリーに渦巻く陰謀があり…、というミステリのジャンルに入れてもよい、シリーズを通して追いかけてみたい作品です。⑰は陸上競技（4×100m）の話です。これを読むと無性に走りたくなります。⑱は合唱部の話です。「よろこびの歌」で高校生だった主人公が大学生になった話が「終わらない歌」です。これは続けて読んでほしい作品です。

### 〈やっぱり読書といえば歴史です〉

- ⑲ 「秘本 三国志（1～6）」陳舜臣 文春文庫
- ⑳ 「始祖鳥記」飯嶋和一 小学館文庫

⑲は三国志ですが、一般的には劉備が主人公で、曹操が悪者のような立場で描かれていますが、この作品は全く異なる立場から客観的(?)に描かれているので、三国志好きには新鮮に映るでしょう。三国志を読んだことのない人は、吉川英治の「三国志」から読みましょう。⑳の作者は、4年に一冊くらいしか作品を出しません。取材を重ね、丁寧に重厚な話を作るために時間をじっくりかけるのです。これは、江戸時代に空を飛ぼうとした人の話です。飯嶋作品は、圧政に虐げられている弱者が逞しく生きていく姿を描いたものが中心です。読むと感情移入して作品世界に浸れることと思います。

…と、20 作品を紹介しました。これらは、いままで読んだ中でも珠玉の作品たちです。何かお気に入りであればうれしく思います。それでも、まだまだ紹介しきれいていません（エンタメ/文豪の作品等）ので、気力と時間があればまた紹介したいと思います。